

梅雨期からの大雨・高温を見据えた技術対策

令和7年6月9日
南筑後普及指導センター

【共通】

- (1) 大雨により浸冠水のおそれがある場合、農業機械や器具は、格納庫など安全な場所に早めに移動する。

【施設園芸】

- (1) 施設周囲の作溝により、施設内への雨水侵入を防ぐ。
- (2) 施設内外にある流亡のおそれがある資材等は、明渠をふさぐ可能性があるので片づけておく。
- (3) 防水壁や排水ポンプを整備している場合は、事前に土のうなどで補強し、点検しておく。
- (4) 重油のほ場外への流出を未然に防ぐため、オイルタンクや暖房機はバルブを閉めて、本体が倒伏しないように十分固定する。
- (5) 暖房機を使わない期間や暖房機のメンテナンスを行った後には、暖房機の元栓が閉まっていることを確認する。

【家畜】

- (1) 大雨に備えて、畜舎内外の排水溝の流れを点検しておく。
- (2) 畜舎内に雨が入らないように、破損箇所は事前に修理しておく。
- (3) 尿溜めや堆肥舎に雨水が流入しないように、防水対策を実施する。

(参考資料)

- ・熱中症対策パンフレット「農作業中の熱中症を予防しましょう!!」
- ・熱中症関係情報集
- ・熱中症対策の義務化パンフレット「職場における熱中症対策の強化」
- ・重油流出事故防止対策パンフレット「農業用ハウス等における、暖房機用重油タンクからの油流出事故にご注意ください！」